

ほうでえ～

ありゃ～のう

周防大島町の話題

▶ドローンによる農薬散布のデモフライト



▶70年のあゆみを紹介



柑きつ振興センター70周年

10月19日、山口県柑きつ振興センターにて、創立70周年式典が行われました。

柑きつ振興センターの河村康夫所長が歴史や研究成果など70年のあゆみを紹介され、大規模経営が実践できる基盤整備と併せ、ICTやAIを活用した技術開発を行うことなど、今後の展望についても語られました。

式典後は、ドローンによる農薬散布のデモフライトや開発中の技術などが公開されました。

柑きつ振興センターは、昭和23年（1948年）に、山口県農業試験場大島柑橘分場として創立され、担い手の養成や時代を先取りした研究などに取り組んできました。

近年では、高い糖度を有する「せとみ」や「南海シードレス」といった新品种の育成、毎年安定した生産量を確保できる新たな栽培技術の開発などに取り組まれています。

新しい集落支援員が着任しました

10月1日、大島庁舎において、新しい集落支援員の委嘱状の交付式が行われました。

新たに集落支援員となったのは、神奈川県出身の榮大吾^{さかえだいご}さんで、白木半島地域において「やまぐち元気生活圏」づくりの取り組みを実践します。ニホンアワサングなど豊かな自然環境を有する白木半島地域の特性を活かし、地域の将来計画である夢プランの実践など、住民と一体となって、地域を元気にしていくために取り組んでいきます。

榮さんは、「地域の先輩方が築き上げてきたものを大切にしながら頑張っていきたい」と意気込みを語られました。



▶椎木町長から委嘱状を受け取る榮さん

基幹系システム共同利用の協定締結

10月29日、宇部市役所において「やまぐち自治体クラウド基幹系業務システムの共同利用に関する協定締結式」が行われました。

各自治体の住民基本台帳などの情報を専用のネットワークを通じ、外部データセンターで共同管理するもので、経費の削減や集中監視による情報セキュリティ水準の向上、庁舎が被災した場合でも業務継続を行えることを目的としています。

このたび、宇部市、防府市、長門市、美祢市、山陽小野田市、周防大島町、和木町の5市2町との間で共同利用の協定を結びました。



▶協定書を手にする椎木町長